

平塚市立大野中学生徒事務所訪問

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、11月18日（水）、平塚市立大野中学校の1年生15名に対し、事務所内で自衛隊説明会を行った。

参加した生徒は今後、総合学習で自衛隊の研修を希望しており、事前に「自衛隊の任務・役割などを知りたい」ということで、今回の訪問となった。全員自衛隊の研修は初めてであり、事務所に展示してある制服や戦闘服などに興味津々で、所長の自衛隊の説明では真剣な眼差しで耳を傾けていた。その後、事務所内の見学を行い、掲示してある写真やパンフレットを見て、今後の総合学習に期待して帰路についた。

平塚地域事務所では、「今後も、自衛隊に対する正しい理解と、興味をもってもらい、近い将来この中から一人でも自衛官を志願してくれることを期待して今後も自衛隊を紹介できる場を設けていきたい」としている。



説明会風景



晩秋の富士駐屯地研修

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は、11月19日（木）、座間自衛隊愛川協力会（市川会長以下19名）の富士駐屯地の研修を支援した。

この研修は、当該協力会からの要望により実現したもので、冷涼な気候の下、参加者はこの研修で、1つでも多く吸収すべく並々ならぬ意気込みと熱意で広報担当者の説明に耳を傾けた。

装備品の説明では、「陸上自衛隊の普通科・野戦特科・機甲科職種の幹部自衛官教育のメッソ力である富士駐屯地を研修したことで、ますます国防への信頼感が増した」といった感想が聞かれ、体験喫食では、国防を担う隊員へ栄養価ある食事が提供されていることを知り、「国防の任に就く隊員のための素晴らしい食事だ」と舌鼓を打っていた。

厚木募集案内所は、「自衛隊の魅力を直接体験できる研修を積極的に案内し、協力者の国防に係るさらなる安心感の醸成と募集広報基盤の拡充に繋げていきたい」としている。



装備品の説明を受け熱心に聞き入る参加者

平塚市立大野中学校の総合的な学習の時間支援について

神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 平一陸尉）は、11月25日（水）、久里浜駐屯地で実施された平塚市立大野中学校（1年生14名他教諭1名）の「総合的な学習の時間」を支援した。

当初全般説明に始まり、基本教練を実施。普段取らない苦しい姿勢に「体が痛い」「背筋が伸びる」と苦笑いで行った後、歴史館を見学し、程よく空腹になったところで自衛隊のおいしい昼食に笑顔で舌鼓を打っていた。午後からの研修では、戦技である格闘体験を行った。関節技や当身技で大いに盛り上がり予定していた時間をオーバーしてしまふなど、最後は名残惜しうに駐屯地を後にした。

平塚地域事務所は、「今後も、自衛隊に対する正しい理解と、将来この中から一人でも自衛官を志願してくれることを期待し、総合的な学習の時間に対する教育を支援したい」としている。



全般説明の様子



基本教練の説明



格闘訓練の様子